

縄文キッズクラブ通信

かいづか

No.34

平成22年4月13日発行

新学年がスタート

4月、春休みが終わり、新しい学年が
スタートしました。みなさん期待を胸
に学校生活をすごしていることと思
います。

新しい縄文キッズがスター
トします。

これまで縄文キッズクラブではいろ
いろな体験にチャレンジしてきました。
土器作り、石器作り、勾玉づくりなどなど。
こうした経験を生かして、今年
はテーマを決めてよりくわしく、そ
して楽しみながら学習していきたいと思
います。

そこで、縄文時代を勉強するならこ
れという「縄文土器」をテーマにしま
す。これまで文房具屋さんから買っ
てきた粘土を使っていましたが、なん
と縄文人と同じやり方、粘土づくりか
らチャレンジします。まずはこれまで
と同じやり方で作って練習してみま
しょう。

4月18日(日)、入江・高砂貝塚館
に9時00分までに集合してください。
材料代300円かかります。

縄文土器の粘土

縄文土器をつくるときの粘土は
いったいどこから運んできたので
しょうか。東京の多摩ニュータウン
No.248遺跡では、粘土をとったと考え
られる穴がいくつも見つかっています。
のことから、縄文時代はムラの
近くで粘土を見つけて作っていたと



入江貝塚出土（縄文中期）

いうことがわかります。

入江貝塚では同じことがいえるの
でしょうか。実際に作ってみて、本物
と比べて見ましょう。

保護者の方へ

申込は必要ありません。保護者の方もぜひ参
加してください。いつでも歓迎致します。

連絡先：洞爺湖町教育委員会社会教
育課 角田 (TEL74-3010)

Fax76-3216)
緊急の連絡は携帯にお願い致します
(090-7515-0745)。
tsunoda.takashi@town.toyako.hokkaido.
jp